



第289号

2013年(平成25年)2月1日

大臨技ニュース

〒543-0018
大阪市天王寺区空清町 8-33
大阪府医師協同組合東館 4 階
TEL.06-6783-5652 FAX.06-6783-5653
社団法人 大阪府臨床検査技師会
発行責任者: 連天 政五郎
大臨技ホームページ URL
<http://www.osaka-amt.or.jp/>

情報組織部 チーム医療部門 生殖医療部会からのお知らせ



生殖医療技術部門講演会 (大臨技・奈良臨技合同開催)



『婦人科がんについて学ぼう!! -診断から治療まで-』

講師:大阪鉄道病院 婦人科 熊谷 広治

以前なら、がんを発症した患者さんが子供を産むことはあきらめられていましたが、がんの治療成績の向上に伴い寛解後に子供を産むことが可能となることも少なくはなく、不妊治療を受けられる患者さんも増えつつあります。

そこで今回の講演会では、婦人科領域(子宮や卵巣など)のがんについて取りあげました。婦人科領域のがんに対する診断や治療など、わかりやすくご講演していただきます。

また、最近の話題でもある『卵巣・卵管・腹膜に見られる漿液性腺癌は卵管采が腫瘍発生の起源!!』という仮説についてもご講演していただきます!!

当講演会は臨床検査技師だけでなく、一般の方や他職種の方の参加も大歓迎!!皆さまお誘い合わせのうえ、多数のご参加をお待ちしています。

日時

平成25年2月20日(水) 18:45~20:00

会場

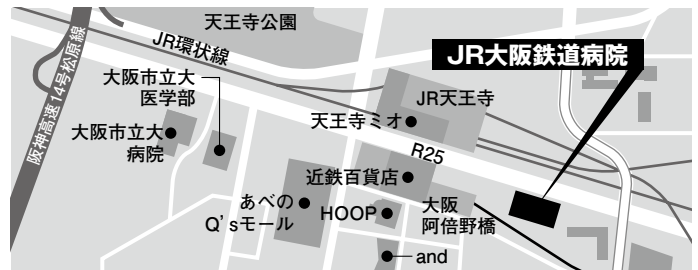
大阪鉄道病院 3階会議室
(〒545-0053 大阪市阿倍野区松崎町 1-2-22)

参加費

無料

連絡先

大阪鉄道病院 臨床検査室 内野 義彦
TEL: 06-6628-2221 (内線 5165)



ご注意

セキュリティの関係上、ご面倒ですが入館の際に守衛室で講演会参加の旨を申し出て、入館名簿に氏名等のご記入をお願いします。

評価点

専門教科-20点(会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数



平成24年度 手話講演会

渉外部 からのお知らせ

評価点

基礎教科-20点(会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数



『医療におけるバリアフリーコミュニケーション』

講師:会社の保健室 踊る保健師(心理カウンセラー) 徳永 京子



手話講演会は、患者さんにやさしい病院づくりを目的に行っています。

みなさん、検査室に聴覚障害者の方が来られたことがありますか。

今回、医療現場で、耳の聞こえない人たちがどのように困っているかを徳永先生に紹介していただきます。

それにあわせて医療現場で使う手話を教えていただきます。

多数のご参加をお待ちしています。

日時

平成25年2月2日(土) 15:00~16:45

会場

近畿医療技術専門学校

参加費

無料

連絡先

市立豊中病院 臨床検査部 清水 隆之
E-mail akane@mub.biglobe.ne.jp



多職種公開講座

第2回 南支部地域オープンセミナー

評価点

基礎教科-20点(会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

Theme ~ 日常臨床に役立つ睡眠学 ~

講師: 滋賀医科大学 睡眠学講座 特任教授 宮崎 総一郎

滋賀医科大学 睡眠学講座は、睡眠医療と関連領域の研究、教育を目的とした日本で、初めての講座として、2004年4月1日に開設されました。

日本では5人に1人が睡眠に関わる問題を抱えていると言われています。新幹線の居眠り事故などで注目されるようになった睡眠呼吸障害。交代勤務や深夜勤務の増加による勤労者の睡眠不足とそれによる事故の増加。一方、近年の神経科学の進展によって睡眠の役割が次第に明らかにされ、免疫・代謝といった基本的な生命機能にとって適切な睡眠が必要不可欠であることもわかってきました。

あなたの睡眠は大丈夫でしょうか? 一度、じっくり睡眠について考えてみませんか?

日時

平成25年2月16日(土) 14:30 ~ 17:00
(受付14:00~)

会場

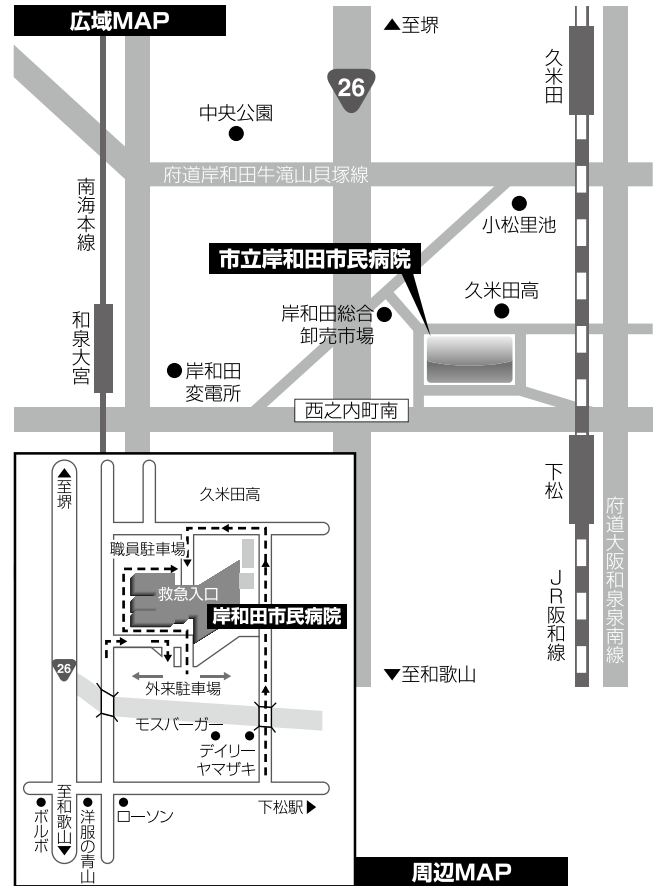
市立岸和田市民病院 3階 講堂
〒596-8501大阪府岸和田市額原町1001番地
JR阪和線「下松駅」下車徒歩6分

参加費

500円(一律)

連絡先

岸和田徳洲会病院 臨床検査科 櫛引 健一
E-mail: kenichi.kushibiki@tokushukai.jp



第29回 技師長会のお知らせ

情報組織部 からのお知らせ

評価点

専門教科-20点(会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

検査室の世代交代が激しい中、皆様の施設ではしっかりした新人教育ができていますでしょうか。

優秀な技師がなかなか集まらないといった声が聞かれる状況下で、いかに優秀な技師に育て上げるかが今回の課題です。

日時

平成25年2月23日(土) 14:00~17:00

会場

関西医科大学附属滝井病院 南館2階臨床講堂
大阪府守口市文園町10-15

参加費

会員500円(大臨技および近臨技会員)
(非会員は別途資料代として500円が必要です)



Theme 「卒前・卒後教育」

座長: 天理医療大学 医療学部 臨床検査学科教授 山西 八郎

【第1部】

14:00 ~ 14:05 挨拶 大阪府臨床検査技師会長 運天 政五郎

14:05 ~ 14:50 講演1「卒前教育の現状」

講師: 大東文化大学 スポーツ・健康科学部
健康科学科教授 近藤 弘

14:50 ~ 15:35 講演2「卒後教育

(「基本的な考えからリーダー育成まで」)
講師: きつこう会 多根総合病院 医療技術部部长
竹浦 久司

15:35 ~ 15:45 休憩

15:45 ~ 16:30 講演3「企業における新人教育」

講師: アークレイマーケティング株式会社
大阪Sales & Service Office
クリニケーション責任者 櫻井 芳明

16:30 ~ 17:00 ディスカッション

【第2部】

17:30 ~ 19:30 情報交換会

講演会終了後、場所を変えて情報交換会(参加費実費)を予定しています。

※募集要項(会場準備の都合上、事前申込みとします)

定員 120名

申込受付期間 平成25年2月1日(金)~平成25年2月20日(水)

申込み方法 右記事項を記入し、FAXまたはEメールにてお送りください。

①氏名 ②施設名 ③電話番号 ④メールアドレス
⑤情報交換会参加の有無 ⑥会員番号
⑦会員区分(大臨技・日臨技など)

連絡・申込み先

大阪府立成人病センター 臨床検査科 井戸田 篤
FAX: 06-6981-8377
Email: idota-at@mc.pref.osaka.jp

多職種公開講座 第22回 糖尿病療養指導士講演会

情報組織部 チーム医療部門 糖尿病療養指導部会からのお知らせ

評価点 専門教科-20点 (会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

Theme これからの糖尿病療養指導に望むこと望まれること

糖尿病治療の目標は、健康な人と変わらない日常生活の質の維持ならびに健康な人と変わらない寿命の確保です。

そのために私たちは、どんなことができるでしょうか？日本糖尿病療養指導士制度ができて12年目を迎え、認定者は17,000名を越えました。プロセスだけでなくアウトカムを求められる時期に来ているといえるでしょう。

自分たちの施設で充実していること、そして不足していることは何か、糖尿病チーム医療のメンバーとしての役割を見直す機会になるかと思えます。ぜひ、多くの方の参加をお待ちしております。

- 日 時 平成25年2月10日(日) 13:20~17:00 (受付12:45~)
- 会 場 大阪大学中之島センター 10階ホール
- 参加費 500円(一律)
- 共 催 サノフィ株式会社
- 連絡先 ふくだ内科クリニック 横山 有子
Email: ar-ykym@mua.biglobe.ne.jp



プログラム

- 13:20~13:30 開会挨拶
(社)大阪府臨床検査技師会 会長 運天 政五郎
- 13:30~15:00 講演1部
 1. 「当院における糖尿病ケアチームの活動」
講師：大阪警察病院 臨床検査技師 坂口 恭子
 2. 「チームで取り組む糖尿病療養指導
-患者さんをエンパワーメントするために-」
講師：大阪市立総合医療センター
糖尿病看護認定看護師 熊野 真美
- 15:00~15:20 糖尿病関連商品の紹介 情報提供
「持効型インスリン製剤 ランタス注ソロスター」
サノフィ株式会社
- 15:20~15:30 休憩
- 15:30~17:00 講演2部 座長：運天 政五郎
「検査の情報を如何に糖尿病診療・療養に活かすか！！」
講師：大阪厚生年金病院 内科部長 宮田 哲

本研修会は「日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会」として
 <第2群> 糖尿病療養指導研修 1単位
 (認定番号 12-1028) あるいは、
 <第1群> 自己の医療職研修単位-臨床検査技師-1単位
 どちらか一方で認定申請可能です。

多職種公開講座 平成24年度 第2回 ICT部会

情報組織部 チーム医療部門 からのお知らせ

評価点 基礎教科-20点 (会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

ICT 活動として結核の感染対策は最も重要な活動の一つに挙げられます。結核に診断には、塗抹検査、培養検査、遺伝子検査など微生物学的検査から、ツベルクリン反応や血清を使用した検査など様々な診断方法が存在します。

近年、結核菌特異抗原により全血あるいは精製リンパ球を刺激後に産生されるインターフェロン γ (IFN- γ) を測定する結核診断法として、Interferon-Gamma Release Assays (IGRA) があり、臨床現場においても活用されています。

現在、IGRA には2種類ありクオンティフェロン TB ゴールドと T-SPOT.TB があります。昨年、T-SPOT.TB も保険収載され、今後活用されることも多くなると考えられます。

そこで、今回の講習会ではこれらの診断法の解釈と院内感染対策への活用について、SRL 関西検査部長 島川宏一先生に解説していただく予定です。ふるってご参加ください。

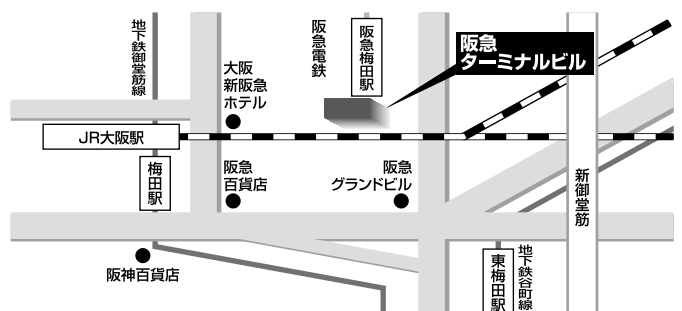
- 日 時 平成25年2月28日(木) 18:30~20:00
- 会 場 阪急ターミナルスクエア・17 ふじの間
阪急梅田駅 阪急ターミナルビル 17 階
- 参加費 500円(一律)
- 連絡先 関西医科大学附属枚方病院 中村 竜也
Email: nakamurt@hirakata.kmu.ac.jp

情報提供 『感染症迅速診断について』

講師：アリーアメディカル株式会社 学術担当

講 演 『IGRAを用いた結核の診断と院内感染対策への活用について』

講師：株式会社エスアールエル 臨床検査事業検査部門
関西検査部 島川 宏一



多職種公開講座 第10回 内視鏡検査部会

情報組織部 チーム医療部門 からのお知らせ

評価点

基礎教科-20点(会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

今回の講演会第一部は、味の素製薬株式会社より新しく発売される腸管洗浄剤「モビブレップ配合内用剤」の情報提供です。これまでの「ニフレック」に比べて、服用量が少なく、同じような効果がある。実験でニフレックは4回飲みましたが、残り500ccがきつかったです。それがなくなる……？楽しみです。

第二部は、第1回の部会で好評だった、内視鏡の病理結果はどう見るのか、を実際の標本を見ながら学びたいと思います。またまた、楽しみです。皆様のご参加をお待ちしております。

日時 平成25年2月25日(月) 18:30~20:30

会場 大阪産業創造館 5階 研修室E

参加費 500円(一律)

共催 味の素製薬株式会社

連絡先 大阪労災病院 出野 憲由

E-mail: et-iden@orh.go.jp

TEL: 072-252-3561 院内PHS (4258)

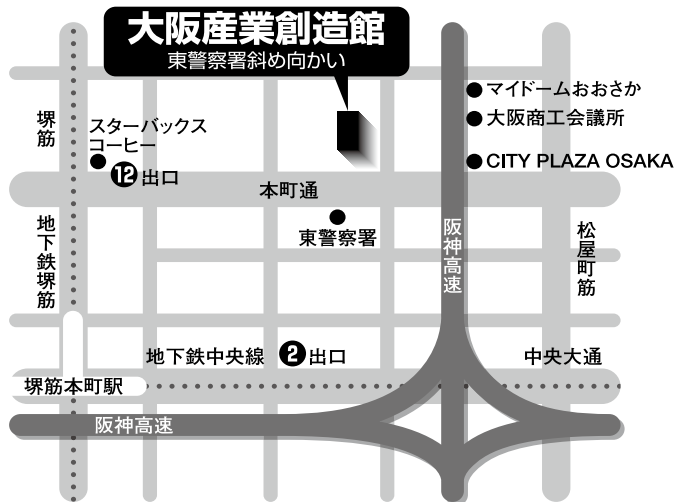
内容

18:30~ お知らせ

18:45~ 第一部 新しい経口腸管洗浄剤
「モビブレップ配合内用剤」
味の素製薬株式会社 学術担当

19:30~ 第二部 病理検査のABC(内視鏡編)
育和会記念病院 田畑 泰弘

次回は平成25年3月9日(土) 大阪労災病院です。



学術部 検体管理システム部門 からのお知らせ

平成24年度 大臨技臨床検査データ標準化推進事業報告会 「大臨技標準化推進委員会・検体管理システム部門共催講演会」

大臨技標準化推進委員会は、昨年10月に110施設のご参加をいただき第5回大臨技精度管理調査を実施しました。現在の医療において臨床検査データの標準化は必須の課題であり、大臨技としても、よりよい事業にすべく今後も継続して推進していく予定です。

つきましては今年度に標準化推進事業に参加された方、この事業にご興味のある方々にご参加いただき、今回の事業報告ならびに標準化推進事業に対するご意見を伺いたいと思います。多くの方のご参加をお待ちしております。

日時

平成25年2月2日(土) 14:00~17:00

会場

あべのメディックス 6階ホール

参加費

会員 500円、非会員 3,000円

連絡先

大阪厚生年金病院 中央検査室 竹村 真俊

TEL: 06-6441-5451 (内線2345)

Email: m-takemura@okn.gr.jp

評価点

基礎教科-20点(会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

内容

- 平成24年度 標準化事業概略
参加施設、試料、評価法等について
松下記念病院 中島 康仁
- 結果報告
(1) 臨床化学① 大阪厚生年金病院 竹村 真俊
(2) 臨床化学② 大阪赤十字病院 山本 裕之
(3) 血液 市立岸和田市民病院 杉山 昌晃
- 学術講演 血球計数検査の標準化の現状と課題
シスメックス株式会社 学術情報部 精度管理課 白上 篤
- 討論会、その他

他職種公開講座 臨床化学検査部門 講演会

学術部 臨床化学検査部門 からのお知らせ

評価点

専門教科-20点(会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数



「TP・ALBの2試薬系における基準値の設定について」

講師: 株式会社カイノス学術部 宿屋 敬

皆さんの施設では、TP・ALBは2試薬系ですか? 基準値はどうされていますか?

もう変更された施設もそうでない施設も一緒に考えてみませんか。多数の方の参加をお待ちしています。

日時 平成25年2月14日(木) 18:30~20:00

会場 大阪市立大学医学部 4階小講義室1

参加費 500円

(非会員の方は別途資料代として500円が必要です)

連絡先 大阪市立大学医学部附属病院 石田 繁則

Email: shigel@med.osaka-cu.ac.jp

第27回 大阪病理技術研究会

評価点 専門教科-20点 (会員証をお持ちください)
 ※評価点=日臨技生涯教育点数

今回は「これからの病理検査に求められること」をテーマとした研究会を開催します。検体検査のみならず、病理検査においても標本作製や染色において精度管理が求められています。また、医療安全対策、感染対策、作業環境対策など様々な問題への対策も必要になってきています。日々のルーチンを行っている時に「自分の施設の染色結果はこれでいいのかな?」「感染対策は大丈夫かな?」と、ふと疑問に思ったり不安に思ったことはありませんか。

今回の研究会では、ルーチンでのこのような疑問や不安を少しでも解消できるような講習会にしたいと思っています。ベテランさんはもちろん若い技師の方もふるってご参加ください。

なお、終了後には懇親会も開催しますので、研究会に引き続きご参加ください。(当日受付)

日時 平成25年2月23日(土) 13:30~18:00
会場 日生病院 別館 1階講堂
参加費 会員1,000円、非会員2,000円
連絡先 南大阪病院 宇津野 美弥子
 Email: jako@oct.zaq.ne.jp



1. アミロイド染色ミニサーベイ
 大阪市立大学附属病院 佐々木 政臣
2. ポリエチレン製使い捨てピペットと袋オブラートを利用した簡単なセルブロック作製法(ピペット・オブラート法)
 大阪府急性期・総合医療センター 藤中 浩樹
3. 医療安全を目指して
 ~病理組織標本作製におけるWEBカメラの活用~
 株式会社ファルコバイオシステムズ 林 久志
4. 改正女性則と病理検査現場における暴露対策
 盛和工業株式会社 中島 幸哉
5. 病理診断業務における感染対策
 藤田保健衛生大学附属病院 平澤 浩
6. 遺伝子検査の基礎と現状
 アークレイマーケティング株式会社 延原 崇之
7. 乳癌と胃癌においてHER2遺伝子増幅を検出するためのCISH法
 株式会社常光 今野 佳祐
8. 免疫組織化学 酵素抗体法の精度管理とは ~染色の落とし穴~
 神戸大学医学部附属病院 柳田 絵美

[交通案内]
 地下鉄 中央線・千日前線「阿波座駅」下車西側(6)号出口 約3分
 長堀・鶴見緑地線「西長堀駅」下車(4)A号出口 約6分

近臨技後援行事のお知らせ 第11回 病理・細胞診セミナー

『乳腺の病理と細胞診』をテーマとしたセミナー開催いたします。
 皆様方が日頃悩んでいることへの解消、最近のトピックスを講演していただきます。
 皆さまのご参加をお待ち申し上げます。

日時 平成25年2月9日(土) 14:00~17:00
会場 大阪市立総合医療センター 3階 さくらホール
参加費 無料
主催 サクラファインテックジャパン株式会社
後援 近畿臨床検査技師会
連絡先 サクラファインテックジャパン株式会社 大阪営業所 檜垣 展祥
 E-mail: general@sakura-finetek.com
 TEL: 06-6221-2070 FAX: 06-6221-2071

申込み方法
 FAX、または、メールにて応募ください。
 メールの場合は、上記連絡先へ件名は「第11回病理・細胞診セミナー参加」とし、施設名・氏名・住所・電話番号を記入して送信してください。
 FAX用の申込み用紙は大臨技のホームページからダウンロードできます。

近臨技後援の講習会のため評価点は付きません。
 ご了承ください。
 CTクレジット: JSC 5単位・IAC 3単位

Theme 乳腺の病理と細胞診

プログラム

1. 乳腺の細胞診 ー心がけたい点ー
 講師: 有限会社 サイパソリサーチセンター 畠山 重春
2. 乳腺の凍結組織切片作製のコツについて
 講師: 順天堂大学医学部付属練馬病院 青木 裕志
3. 乳腺病理診断にもとめられるもの
 講師: 日本医科大学付属病院 土屋 真一



他職種公開講座 微生物検査部門 定期講習会

学術部 微生物検査部門 からのお知らせ

評価点 専門教科-20点 (会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

2012年度も最後の定期講習会となりました。

そこで、2012年度微生物検査に関する様々な出来事を総括として振り返ってみたいと思います。
また、後半は微生物ミニ学会と題し、7名の先生方に学会発表形式で情報を提供していただきます。
みなさんふるってご参加ください。

Theme 2012年度総括および微生物ミニ学会 講師：部会世話人

日時

平成25年2月26日(火) 18:30~20:00

会場

大阪医療技術学園専門学校 2階
(〒530-0044 大阪市北区東天満2-1-30)

参加費

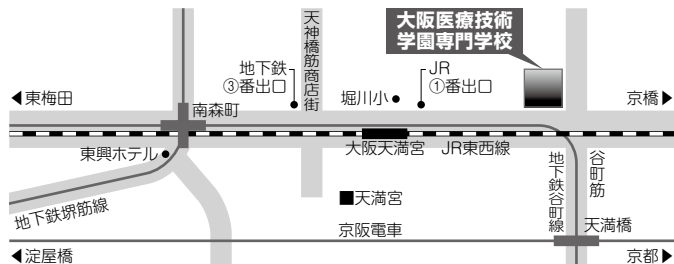
500円 (非会員は別途資料代として500円が必要です)

連絡先

関西医科大学附属枚方病院 中村 竜也
E-mail: nakamurt@hirakata.kmu.ac.jp

内容

1. 微生物検査総括2012!
講師：関西医科大学附属枚方病院 中村 竜也
2. 微生物ミニ学会
 - ① Capnocytophaga canimorsusによる髄膜炎の1症例
近畿大学医学部附属病院 臨床検査部 宇都宮 孝治
 - ② 有鉤囊虫感染の1症例
大阪赤十字病院 市村 佳彦
 - ③ アメーバ性肝膿瘍の1症例
西淀病院 木村 麻友美
 - ④ 定常期抗酸菌にみられるイソニアジド抵抗性獲得メカニズムの解析
大阪市立大学医学部附属病院 仁木 誠
 - ⑤ 白血病治療中にLinezolid耐性E.faeciumが検出された肛門周囲膿瘍の1症例
大阪市立大学医学部附属病院 小林 由佳
 - ⑥ 血液培養からのESBL産生腸内細菌の検出状況について
関西医科大学附属滝井病院 夏目 聖子
 - ⑦ 血液培養ボトルから直接同定・感受性測定への試み
国立病院機構大阪医療センター 竹田 真未



他職種公開講座 一般検査部門研修会

学術部 一般検査部門からののお知らせ

評価点 専門教科-20点 (会員証をお持ちください)
※評価点=日臨技生涯教育点数

日時

平成25年2月9日(土) 15:00~17:30

会場

近畿医療技術専門学校 2階 会議室
(地下鉄 天神橋筋6丁目駅下車 2番出口より北へ徒歩5分)

参加費

500円(非会員は別途資料代として1,000円が必要です)

連絡先

大阪大学医学部附属病院 医療技術部検査部門 堀田 真希
E-mail: masakin@pop.dc5.so-net.ne.jp

今年度最後の一般検査部門研修会は「尿沈渣検査を再確認しよう!」と題しまして、臨床に必要な尿沈渣検査とは何かを問い、この検査を再確認しようという企画に基づいた研修会を開催いたします。

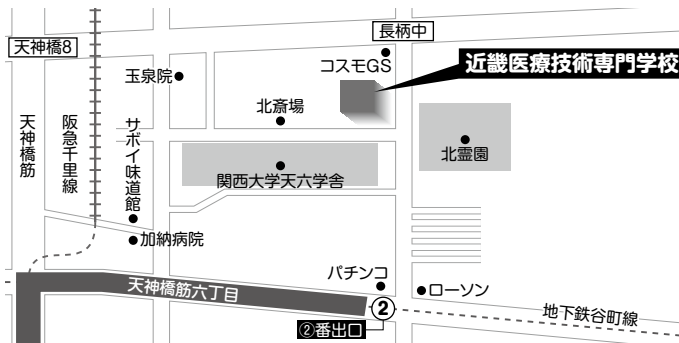
1. 演題目は大阪市大の滝沢先生より、尿沈渣検査の基礎編としまして、尿沈渣成分の鑑別法を中心に、臨床に必要な尿沈渣についてご講演いただき、2. 演題目は国立滋賀病院の佐伯先生によりスライドカンファレンスを行ってまいります。

初心者の方にも満足いただける内容となっておりますので、初心者からベテランまで多くの方のご参加を心よりお待ちしております。

Theme 尿沈渣検査を再確認しよう!

プログラム

1. 「臨床に必要な尿沈渣とは?」
～成分の鑑別法と臨床的意義～
講師：大阪市立大学医学部附属病院 中央臨床検査部 滝沢 恵津子
2. 「スライドカンファレンス」
講師：国立病院機構滋賀病院 研究検査科 佐伯 仁志



輸血セミナー 2013

学術部 輸血検査部門からのお知らせ

評価点

専門教科-20点 (会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

今回の輸血セミナーは、午前中に講演2題、午後からは「みんなで考えよう！こんな時どうしよう？」と題して全員参加型の症例検討を企画しています。

悩ましい症例に遭遇した時、次なる最善の一手をどうするか？選択肢から皆さんに選んでもらう方式を進めていく予定です。ただ今5つの症例を企画しています。ぜひ多くの方々のご参加をお待ちしています。

日時

平成25年2月9日(土) 10:00~16:00

会場

大阪医科大学北キャンパス 看護学部看護学科 講堂

参加費

3,000円 (非会員は別途資料代1,000円が必要です)

連絡先

大阪府済生会中津病院 深田 恵利奈

E-mail: yuketsu-osaka@mail.goo.ne.jp

内容

10:00 ~ 11:00 講演1.「輸血と血小板関連病態」

講師: 関西医科大学附属枚方病院 第1内科
野村 昌作

11:00 ~ 12:00 講演2.「輸血副作用の実際」

講師: 近畿ブロック血液センター 阿蘇 秀樹

12:00 ~ 13:00 昼休憩(昼食は各自でご用意ください)

13:00 ~ 16:00 「みんなで考えよう！こんな時どうしよう？」
(ただ今企画立案中。お楽しみに！)



第10回 大阪臨床検査ISO15189 研究会

平成24年9月の時点で国内でのISO15189認定施設は60施設以上となり、徐々にではありますが認定施設が増加している現状です。今回の研究会では、最近認定を取得されましたご施設に取得経験談をご講演いただきます。

また、第2部は、臨床検査に係る標準規格の最新動向についてご講演いただきます。

ISO15189の認定取得を検討中の施設の方はもちろん、ISO15189に関心のある方は、ぜひご参加いただきますようお願い申し上げます。

また、今回も意見交換会を設けておりますので、こちらにもふるってご参加くださいますようお願いいたします。

プログラム

1. ISO15189 取得経験

「ISO15189取得経験談 中規模施設編」

講師: 岡山旭東病院 診療技術部 臨床検査課 藤岡 克徳

「ISO15189取得経験談 大規模施設編」

講師: 国立循環器病研究センター 臨床検査科 浅田 高至

2. 臨床検査に係る標準規格最新動向

「医療情報システム標準化最新動向~国策としての標準化推進~」

講師: 日本IHE協会 臨床検査企画委員会 井口 健

「ISO15189最新動向」

講師: 公益財団法人 日本適合性認定協会 下田 勝二

3 意見交換会 17:00~19:00

大阪医科大学地下食堂

日時 平成25年2月16日(土) 14:00~19:00
(開場13:30~)

会場 大阪医科大学 新講義実習棟1F 101号室
(http://www.osaka-med.ac.jp/others/campus_map/index.html)
アクセスマップ(<http://hospital.osaka-med.ac.jp/access.html>)

参加費 500円 (事前登録の必要はありません)

主催 大阪臨床検査ISO15189研究会

共催 大阪府臨床検査技師会

後援 財団法人日本適合性認定協会(JAB)

連絡先 世話人代表 大阪医科大学 購買・物流部 井口 健
E-mail: kenmie@ruby.famille.ne.jp

評価点

基礎教科-20点 (会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数
医療情報技師更新ポイント 1点(予定)

大阪臨床検査 ISO15189研究会ホームページ
URL: <http://www3.famille.ne.jp/~kenmie/iso.html>

第5回 緊急検査部会勉強会

学術部 緊急検査部門 からのお知らせ

評価点

基礎教科-20点 (会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

Theme あんな症例・こんな症例 ~いっしょに経験しませんか~ Part II

平成24年度緊急検査部会最後の勉強会は、昨年たいへんご好評を得ました、『あんな症例・こんな症例』を取り上げて、いっしょに経験したいと思います。

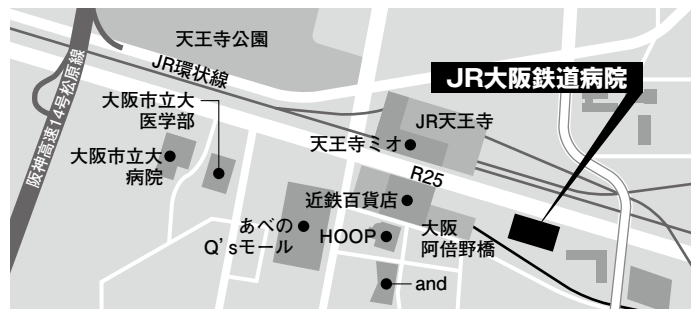
症例は、日ごろ良く遭遇する症例から頭を抱える症例までお役に立つこと間違いなしです!!

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日 時	平成25年2月12日(火) 18:30~20:00
会 場	大阪鉄道病院 3階 大講堂
参加費	会員500円、非会員3,000円
連絡先	大阪府立泉州救命救急センター 福田 篤久 Email: atsuhiisa@sccmc.izumisano.osaka.jp TEL: 072-464-9911(内線9601)

プログラム

- どないしょ!! D陰性血液なんて在庫してへん!
講師: 岸和田徳洲会病院 臨床検査科 田代 健一郎
- ムムム、血小板が低い!この結果正しいの?
~稀な症例を中心に~
講師: 近畿大学医学部附属病院 中央臨床検査部 前田 岳宏
- 胸痛 ≠ 心筋梗塞
講師: 大阪府三島救命救急センター 検査科 竹下 仁



多職種公開講座

評価点

基礎教科-20点 (会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数

第2回 中央支部地域オープンセミナー

Theme 「検査技師と看護師から見たICTと感染防止対策」 〈院内感染対策における感染対策チーム(ICT)の役割と感染防止対策加算〉

平成24年度診療報酬改訂に伴い、感染防止対策加算が新たに新設されました。

(新)感染防止対策加算1 400点 (入院初日) / (新)感染防止対策加算2 100点 (入院初日)

今回は、現在各施設で平成24年度の診療報酬改訂に伴い、感染防止対策加算が新たに新設され、取得されている施設が増えてきており、各施設とも院内感染防止対策に非常に力を入れてきています。

そこで、現状のICT活動を含めた院内感染防止対策方法と感染防止対策加算の現状を例にとり、臨床検査技師と看護師から見たICT(感染対策(制御)チーム)の現状報告と取り組みを話していただきますので、各施設の臨床検査技師や看護師ならびに興味のある方々の参加をお待ちしています。

プログラム

- ICT(感染対策(制御)チーム)と感染防止対策加算の現状報告
講師: 株式会社エスアールエル 臨床検査事業検査部門 関西検査部 島川 宏一
- 臨床検査技師から見た院内感染のICT活動と感染防止対策加算における現状報告
講師: 関西医科大学附属枚方病院 臨床検査部・感染制御部 認定臨床検査微生物検査技師/ICMT 中村 竜也
- 看護師から見た院内感染のICT活動と感染防止対策加算における現状報告
講師: 地方独立行政法人 堺市立病院機構 市立堺病院 感染管理認定看護師 岡本 みちる

開催日、会場が変更になりました!! ご注意ください。

日 時	平成25年3月9日(土) 14:00~17:00 (受付13:30~)
会 場	大阪府病院年金会館 コンベンションルーム(地階) 大阪市天王寺区六万体的4-11
参加費	500円(一律)
対象者	医療職種全般・一般・学生
定 員	約140名
連絡先	大阪府済生会野江病院 臨床検査科 森 啓悟 E-mail kensa@noe.saiseikai.or.jp TEL 06-6932-0401(内線280番)



大臨技後援行事のご案内

第23回 生物試料分析科学会 年次学術集会

<http://www.congre.co.jp/abs23/>

参加費 一般(会員、非会員の区別はありません)

当日登録 8,000円、交流会費:4,000円

学生:事前・当日登録 2,000円、交流会費:1,000円

運営事務局 〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-13 (株)コングレ内
TEL: 06-6229-2555 FAX: 06-6229-2556
E-mail: abs23@congre.co.jp

2013年
2月10日(日)・11日(月・祝)

新梅田研修センター

8:15 受付開始
9:00 学術集会プログラム開始

集会長:安原 正善
(社団法人日本海員掖済会
神戸掖済会病院)

後援 大阪府臨床検査技師会・兵庫県臨床検査技師会・社団法人日本海員掖済会 神戸掖済会病院

新たな「知」の創造

～今、関西が熱い!～

スーパーコンピューター「京」
X線自由電子レーザー「さくら」

学術集会のコンセプト

- ① 産学官の融合
- ② 関西の科学施設に学ぶ
- ③ 地域産業に学ぶ

予定プログラム

「特別講演」「教育講演」「地域産業・科学施設に学ぶ」
「シンポジウム・ワークショップ 3企画」
「ランチョンセミナー 4題」「企業演題 10題」「一般演題 30題」

特別講演Ⅰ

「予測医療に向けた生体力学シミュレーション」

東京大学 工学系研究科 機械工学専攻 バイオエンジニアリング専攻 教授 高木 周

特別講演Ⅱ

「X線自由電子レーザー施設SACLAがついに始動 ～X線イメージングの最先端～」

北海道大学 電子科学研究所 コヒーレントX線光学研究分野 教授 西野 吉則

教育講演Ⅰ

「癌の発生機構の基礎研究に基づく新しい癌治療薬の創薬」

神戸大学 医学研究科医科学専攻 生化学・分子生物学講座分子生物学分野 教授 片岡 徹

教育講演Ⅱ

「カイコ産業の復興」

株式会社 免疫研究所 取締役 経営企画室 室長 木下 憲明

地域産業・
科学施設
に学ぶ

シンポジウム・
ワークショップ
3企画

- ① 「醤油醸造がもたらす恵み」
ヒガシマル醤油株式会社 研究所所長 古林 万木夫
- ② 「ヤエガキの研究開発への取り組み
伝統技術からイノベーション創出まで」
～Tradition for Innovation～
ヤエガキ発酵技研株式会社 機能性食品研究開発部
部長 タパン・クマル・マズムダル
- ③ 「職人技の自動化・省力化技術の今後の可能性」
極東産機株式会社 代表取締役社長 頃安 雅樹
- ④ 「神戸市医療産業都市の新たな発展を目指して」
神戸市企画調整局 医療産業都市推進本部
本部長 三木 孝
- ⑤ 「あなたの明日を科学する スーパーコンピューター「京」」
理化学研究所計算科学研究機構 広報国際室
室長 辛木 哲夫

企画Ⅰ

プロフェッショナルセミナー

「関西コテコテ先生が熱く語る
臨床検査のここがポイント」

企画Ⅱ

「緊急医療の現在(いま)を知る」

企画Ⅲ

POCTセミナー

平成24年11月11日(日) 9:00~15:00 摂津市立保健センター

昨年の11月11日、「第28回せつつ市民健康まつり」が開催されました。大阪府臨床検査技師会から、検査体験コーナーのボランティアとして12名の技師が参加し、市民への検査体験を実施しました。

検査は、骨年齢（骨密度）と血管年齢（動脈硬化チェック）を行い、骨年齢160名、血管年齢160名の測定を行いました。

今年は、保健センター側の要望で、お昼休みも検査を途切らせない体制で行いましたが、ボランティア全員のチームワークのおかげで、何事もなくスムーズに運営できました。和やかな雰囲気の中、検査体験を通じて多くの市民の方々に喜んでいただけたのではないかと感じました。

また、終了後は、同センター内のカフェテリアでボランティア全員で、お茶会をして親睦を深めることができ、有意義な一日となりました。最後に、今回の健康まつりでも、多くの準備・実務を担当してくれた吹田市民病院の松本典久委員に感謝いたします。

大臨技北支部せつつ市民健康まつり担当責任者
大阪医大病院 中央検査部 東山 智宣



「せつつ市民健康まつりボランティア」に参加して

11月11日、摂津市立保健センターにおいて、第28回「せつつ市民健康まつり」が開催され、今回ボランティアとして参加させていただきました。

当日は朝からあいにく冷たい雨が降り、来場者が少なくなるのが心配されましたが、幸い多くの方に来て頂き、臨床検査コーナーは整理券が配布後すぐになくなるほどの人気がありました。

今年は超音波を利用した骨密度測定、指尖容積脈波を利用した動脈硬化チェックの2種類を行いました。動脈硬化チェックの方は、血管年齢という形で結果が出ることもあり、実年齢より若い、そうでなかった、と一喜一憂、皆さん楽しんで検査を受けていらっしや

るようでした。市民の方々に、こうして楽しみながら検査を受けていただくことにより、健康への関心を高めていただくことはもちろん、臨床検査を身近に感じ、興味を持っていただくことができたのではないかと思います。そしてこのような体験を通じて、臨床検査技師という職種の認知も今よりもっと広まるのではないかと思います。



今回、同じくボランティアとして参加した他施設の方々とも、当日初めてお会いする方も多かったのですが、間違いなく言えることは、皆さんとても感じの良い方ばかりだったということです。

私もこの中の一員として「感じの良い人」になれているのかしらと不安でしたが、やはりこのようなお手伝いを通じて、市民の方々に喜んでいただける充実感からか、皆さん自然と優しい笑顔があふれているのかもしれないと思いました。日常業務を離れて、このような場で市民の方々と接することで、色々な刺激も受け、また大切なことも思い出させていただいたような気がします。

終了後は、お茶を飲みながらの交流会があり、皆さんとほっと一息、楽しく充実感に満ちた一日となりました。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

吹田市民病院 中央検査部 市来 千佳

当日のお天気は生憎の雨でしたが、大勢の市民の方が足を運んでくださいました。

今回の検査項目は血管年齢と骨密度測定でした。



私は、慣れない検査と市民の方と直接、接する緊張感から、ごこちない対応になっていたと思います。それでも市民の方から「ありがとう」と言葉をいただけたりして、単純に嬉しくなりました。検査の合間には、先輩技師さんの検査説明や対応の様子を見て、参考にさせていただきました。

休憩時には他の展示や体験コーナーも周ることができ、X線写真コーナーでは、様々な疾患の画像を解説付きで見せてもらえました。「なるほどなあ、解説が無ければ分からないなあ。」普段の仕事ではエコー以外に画像をみる機会も少なく、画像検査の視野も少し広がったように思います。



市民の方と一緒に技師も楽しむ、他施設の技師さんとの交流、楽しみながら健康に関して勉強できる、これは健康まつりならではの楽しみです。少しの緊張感と大きな充実感を求めて、また来年も参加させていただきたいと思います。

協和会病院 検査科 入江 幸恵



第8回 学術講演会



評価点

基礎教科-20点 (会員証をお持ちください)

※評価点=日臨技生涯教育点数



白血病の診断と治療(仮)

講師：天理医療大学教授 松尾 収二

はじめ各部門担当は以下を予定しております。

- 血液検査部門 大阪赤十字病院 中藤 裕子
- 輸血検査部門 大阪市立大学医学部附属病院 藤野 恵三
- 臨床化学検査部門 大阪市立大学医学部附属病院 塩本 一正
- 一般検査部門 大阪市立大学医学部附属病院 滝沢 恵津子

日時

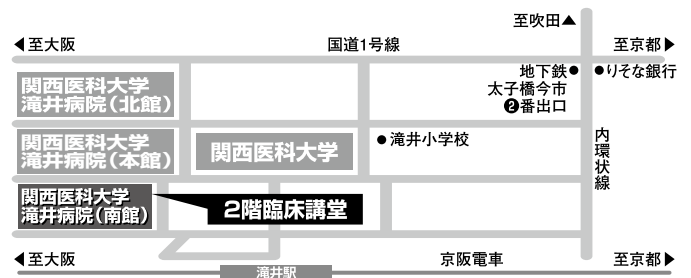
平成25年3月9日(土) 14:30~17:30

会場

関西医科大学附属滝井病院 南館2階 臨床講堂

連絡先

関西医科大学附属香里病院 臨床検査部 高田 厚照
E-mail takada@kouri.kmu.ac.jp



大臨技理事会報告 Executive board report

【平成24年度 第9回理事会(12月13日開催) 決定事項】

1. 平成27年に大阪で開催予定である日臨技関西支部検査学会の準備委員会を、会長、副会長、清水支部幹事を中心に立ち上げる。
2. 日本臨床検査技師連盟の連絡責任者に竹浦副会長を推薦し、承認された。
3. 平成25年1月より、チーム医療に関わる多職種公開講座の参加者から資料代は徴収しないこととする。

重要

大臨技事務局より

平成25年度 大臨技会費納入のお願い

1 日臨技・大臨技両方に入会されている方

会費引き落としは
2月27日です。

平成25年度 会費

① 日本臨床衛生検査技師会	10,000円
② 大阪府臨床検査技師会	5,000円
合計	15,000円

日臨技登録の振替口座から
引き落としされます。

2 大臨技のみに入会されている方

郵便局に備え付けの「払込取扱票」(白地に青枠の用紙)に、下記のとおり必要事項を記入し、大臨技年会費 5,000 円を振り込んでください。振込手数料は各自で負担ください。

※振り込み期限を過ぎますと会員証発行が大幅に遅れますので、期限厳守にてお願いします。

- ・ 口座番号 00950-1-1021 (正確に記入してください。)
- ・ 加入者名 社団法人 大阪府臨床検査技師会
- ・ 通信欄 「平成 25年度大臨技年会費」と記入すると共に、大臨技会員番号、施設番号(わかれば)、および施設名も記入してください。

振り込み期限
2月27日(水)

また、「大臨技臨床検査技師賠償責任保険」(大臨技のみの会員専用)に加入される方は、7,950円(大臨技年会費 5,000円+保険料 2,950円)を振り込むと共に「大臨技臨床検査技師賠償責任保険 加入依頼書」(大臨技ホームページよりダウンロード)を提出してください(加入依頼書の提出は年毎に必要です)。「払込取扱票」の通信欄には「平成 25 年度大臨技会費+保険料」と記入してください。

※上記についての詳細は、大臨技ホームページの「平成 25 年度からの会費納入方法の変更について」および「大臨技臨床検査技師賠償責任保険について」をご覧ください。

詳細は大臨技ホームページをご参照ください。

大臨技主催の講演会等の参加費の再設定について

他職種公開講座という表現に関して

- ☆ チーム医療に関連する事業に関して今後は「多職種公開講座」と記載します。(情報組織部(チーム医療)、地区事業部の一部の事業が該当します。)
- ☆ 学術部各部会の事業は現行どおり「他職種公開講座」とします。

12月理事会決定を受けて

平成 25年 1月開催分より下記のように参加費を設定しております。
他職種公開講座 参加費 会員：〇〇〇円、非会員は別途資料代が必要
多職種公開講座 参加費 〇〇〇円 (一律)
大臨技主催のチーム医療の講演会には他職種の方に多く参加していただいている背景があり、その方々から別途資料代を徴収しないための設定となりました。
今回より受付で、会員・非会員の差別化を強制することはなくなりますが、臨床検査技師で
大臨技に入会されていない方には、この機会にぜひ、入会をお願いしたい所存です。
ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

皆様のご意見、情報等お待ちしております。

FAX:06-6763-5653 E-mail:webmaster@osaka-amt.or.jp
郵送の場合は大臨技事務所までご送付ください。

平成25年3月号の原稿メ切は2月2日(土)、4月号は3月2日(土)です。